

こんな会社です

Our Company

■企業理念「品質第一」-Quality First-■

生産企業である協和グループの基幹は“品質”です。何にもまして生み出す製品の品質を第一に考えることこそ企業生命です。品質は命であり、企業活動すべての基本です。これは協和グループ創業からのポリシーであり、永遠に掲げられる大いなる理念なのです。



■経営理念「技術への探求」-Quest Technology-■

技術を深く掘り下げ、技術についての研究を怠らない。生産技術、管理技術、固有技術…、すべての技術への追求が企業の明日を開きます。常に精密加工のトップをめざし、Q（品質）、C（価格）、D（納期）の技術向上を図ることこそが、企業としての永遠の目標です。現状の技術を磨きながら新しい技術を探る、それが生産企業としての経営理念です。



■行動理念「全員創造主義」-Quark Creation-■

全員が創造力を持って業務にあたる。それが協和グループ社員の行動原則です。どのようにすればお客様が満足するのか、プロとしての意識で接します。そして、的確に行動に移します。協和グループは少数精鋭の集団です。それだけに、一人ひとりの創造力が企業力に直結します。個々には小さなパワーでも、集まれば大きなパワーになる、協和グループはそんな集団でありたいと願っています。

■私たちが目指す姿 –プラスチックや液状シリコンゴムのように柔軟かつ繊細に– ■

時代のニーズにすばやく対応し、新たなものに挑戦し続ける" Premium"なもの造りの実践を目指しています。

金型設計製作、樹脂成形加工だけにとどまらず、液状シリコンゴム（LSR）と樹脂成形・金属切削加工を組み合わせたソリューションを提供します。

“Premium”なもの造りとは、「テクノロジー・サービス・マインド」が三位一体となった、ワンランク上のもの造りです。

●テクノロジー (Technology)

“Made in JAPAN”の底力を大いに発揮するべく、ベンチャースピリットを燃やして、常に最先端技術を探求し、自社の技術力の向上に挑戦し続けていきます。

●サービス (Services)

市場のニーズを正しく捉え、顧客満足を優先したもの造りを提供いたします。

「少ロット多品種生産」に対応するだけでなく、金型製作から量産立上げまでをカバーすることで、お客様の設備投資抑制や開発工数短縮によるコストダウンを実現します。

●マインド (Mind)

私たちは、「当たり前なことを当たり前にする」姿勢を大切にしております。

それは、仕事に取り組む姿勢やお客様との信頼関係を築くための責任感、目標達成意欲は当然ですが日本の製造業者としての誇りを持ち、高いモラルをもった行動ができる企業であり続けたいと考えております。

(※ 画像をクリックすると拡大表示されます)

🔍 取り組みレポート：これがわが社のCSR

Our CSR

■顧客の信頼を勝ち得る製品品質の追究■

お客様の信頼を勝ち得るために、日々品質向上に努めております。

【2012年度実績に対する自己評価と次年度の取り組み】

2012年度は顧客クレームの削減目標が達成できませんでした。2012年度は人にまつわる不具合が大半を占めており「作業・しくみ」要因が多く、作業者を指導しきれませんでした。2013年度に関しては、2012年度の内容を踏まえて、効果的な改善計画を立案・実行していきます。

①金型起因の不良撲滅について

- * 初期流動管理については運用実施へ移行できた。仕組みについても徐々にではあるが定着化してきた。
- * 既存金型の潜在的な不具合の補修について、チョコ停



等の情報をWQR(週間品質連絡会議)にて潜在的不具合として抽出し、次回生産までに調査・改善を実施していく事ができた。

* 今年度は初期流動期間の金型評価に於いて、樹脂流動性の検証・調整基準の設定、または金型改善を行っていく。

* 既存金型については、チョコ停に関して処置で終わっており類似現象が品目を変え発生している。原因の深堀を行い、改善対策を立案し標準化(仕組み作り)する必要がある。

ISO9001 2009年4月認証 ISO14001 2003年4月認証



※ 初期流動管理とは、新製品、設計変更品、工程変更品（製造場所変更、生産設備変更、生産方式変更、金型更新・修正・改造した場合、クレーム恒久対策実施後の生産）における生産初期段階での管理の事。

※ チョコ停とは、一時的なトラブルでの設備停止の事。

※ 初期流動期間とは、「初期流動管理」を行う期間。

②対策効果検証の徹底について

* 発生したクレームについて、2012年度上期に多発していた丹波工場に対し下期から手順の遵守状況を中心に新たな追加策を立て改善活動を実施した。その結果、下期は減少傾向になった。

* 検査で使用している標準類について、検査都度再始動を行い、標準類を常時確認させる様になっており不具合の減少に繋がった。

* 今年度は2012年度効果のあった実行手段を継続して実施していく事と2012年度不具合の分析結果を基に効果的な改善計画を立案し実行していく。

③5S実施による現場環境整備について

* 定期的な確認により、作業員への5Sの意識付けができつつあり、生産環境の改善が進んできた。

* 今年度は定期的に機械周りの整理・整頓を実施し、現場の改善点を抽出し全員で活動を実施して行く。

* 現場の現状把握を実施し、3Sを中心に活動し、あるべき姿を維持する事により現場の設備異常や工程異常を発見できる様に定着化させる必要がある。

※ 5Sとは次の5項目（ローマ字）の頭文字をとって「5S」という。

- ・整理（せいり、Seiri）：いらぬものを捨てる
- ・整頓（せいとん、Seiton）：決められた物を決められた場所に置き、いつでも取り出せる状態にしておく
- ・清掃（せいそう、Seisou）：常に掃除をして、職場を清潔に保つ

- ・清潔（せいけつ、Seiketsu）：3S（整理・整頓・清掃）を維持する
- ・躰（しつけ、Shitsuke）：決められたルール・手順を正しく守る習慣をつける

■地球にやさしい“もの造り”の継続■

環境マネジメントシステムの効果的な運用により、環境汚染の予防に努めております。

以下の重点的改善項目に取り組み2012年度の目標を達成しました。

- * 生産活動に使用する電力消費量の削減
- * 環境に配慮した生産技術、再利用技術の改善による省資源
- * 産業廃棄物の発生量の削減

（※ 画像をクリックすると拡大表示されます）

わが社の取り組み



地球環境をよくする



製品・サービスをよくする

🔊 取り組みレポート：やります やってますCSR

Our Challenge

アイコンの意味：🐧 やってます！CSR 🐧 やりはじめ！CSR 🐧 やります！CSR

法をまもり、社会から信頼を得ることをめざします。

🐧 環境方針・品質方針で法令遵守を宣言し、社内外に公開し、その遵守を実践しています。

働く人を大切に、快適で安全な働く場をつくります。

🐧 安全で快適な職場環境を作るため、5S推進活動を計画的に実施、継続しています。

🐧 社外研修（プラスチックスクール・京都キャリアカレッジ）により、新入社員・若手社員教育の充実を図っています。

取引先を尊重し、良質で安全・安心な商品とサービスを提供します。


🐧 2009年からISO9001（品質マネジメントシステム）の認証を取得し、顧客が認める新しい価値創造・価値提供を追求し、顧客満足の向上に取り組んでいます。

🐧 協力会社に事業方針の説明を適宜行い、信頼関係の維持に努めています。


🐧 液状シリコンゴム（LSR：Liquid Silicone Rubber）の射出成形技術を応用した事業で、「耐熱性」「耐寒性」「撥水性」「耐薬品性」「電気絶縁性」などの優れた特性を持った製品

を提供していきます。

地域社会の良き一員として貢献することをめざします。

 大学、工業高校の学外実習生を受け入れ、実習生の学業・職業に関する幅広い知見を得る機会の提供の一翼を担っています。

地球環境の保全に努め、次の世代につなぎます。

 2003年からISO14001（環境マネジメントシステム）の認証を取得し、省資源・省エネルギー、廃棄物削減などの環境保全活動に取り組んでいます。